

「平成 25 年度大学における社会参加環境調査」

全体の傾向

ゆうあいセンター

全体概要：

本調査の目的

近年、激しく変化する社会において、「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」を代表に、地域を志向した教育・研究・地域貢献活動が多くみられるようになりました。大学が地域に働きかけることにより、地域社会の課題解決に対し、若い世代が担い手として、関わることを期待されています。

この現状を受け、ゆうあいセンターでは、岡山県内の学生のボランティア活動の実態や、大学を通じた地域への関わりやすさや取り組み方を可視化するとともに、今後、地域社会との関わり方を検討しておられる大学教職員の皆様に役立てていただけるような指標を設定し、大学でどのように参加の機会があるのかの調査を行いました。

指標の種類

今回は「社会への関わり」ということを考え、「非営利組織」「地域ボランティア」だけでなく、「地元企業」や「地域自治体」を加えた区分とさせていただいております。また、深さの測り方を「知る」「体験する」「はたらく」「つくる」という4つに分けております。地域ボランティアのみ、「はたらく」の項目はありません。

(指標の数)

	企業	地域自治体	非営利組織	地域ボランティア
知る	7	7	7	7
参加する	4	5	6	8
はたらく	4	4	4	-
つくる	4	4	4	2

※ 指標の詳細は次ページを参照

調査の方法

設計した指標に基づき、各大学のウェブサイトを確認できる情報を、ゆうあいセンターのスタッフで点数づけをし、送付。各大学の変更点・追加などを行っていただきました。

最終確認票をご担当者の方に送付し、最終確認を行っております。

調査対象と回答数

- ・調査対象 : 岡山県内の4年制大学
- ・回答率 : 94.1% (17大学にお願いをし、16大学からご回答いただきました。)

指標一覧

企業	
◆知る	
1	共通の教養科目に地元企業の取組を学ぶ授業がありますか？（例：企業の事例を学ぶ）
2	授業内容（取り組み数）
3	地元企業に関する情報提供をされていますか？（例：企業説明会、地元企業のイベント等）
4	情報提供方法（取り組み数）
5	提供情報（取り組み数）
6	企業からの提供情報を掲示するルールがありますか？（例：担当者の確認後、掲示など。）
7	ルールの閲覧方法（取組数）
◆参加する	
1	体験・実習を含めた授業、行事などがありますか？（例：地元企業の施設見学等による学習など）
2	企業に関わるイベント・セミナー等の行事参加に関する相談機能はありますか？
3	業に関わるイベント・セミナー等の行事参加に関する調整機能はありますか？
4	活動中に生じる事故の補償が整備されていますか？（例：ボランティア保険の加入など）
◆はたらく	
1	企業でのインターンシップ・アルバイトに関する相談機能はありますか？
2	企業でのインターンシップ・アルバイトに関する調整機能はありますか？
3	企業でのインターンシップ・アルバイトに学生が参加する際の取り決めはありますか？
4	企業でのインターンシップ・アルバイトによる単位の取得はありますか？
◆つくる	
1	企業との共同研究を行う機会がありますか？
2	企業との共同事業（コラボレーション）への参加機会がありますか？
3	学生へのインキュベーション（起業、創業）支援がありますか？
4	支援内容（取り組み数）
地域自治体	
◆知る	
1	共通の教養科目に地域自治体の取組を学ぶ授業がありますか？（例：自治体の取組事例を学ぶ）
2	授業内容（取り組み数）
3	地域自治体に関する情報提供をされていますか？
4	情報提供方法（取り組み数）
5	提供情報（取り組み数）
6	地域自治体からの提供情報を掲示するルールがありますか？
7	ルールの閲覧方法（取組数）
◆参加する	

1	地方自治体へ体験・実習を含めた授業、行事などがありますか？
2	地方自治体と情報交換や事業についての協体制がありますか？
3	地方自治体に関わるイベント・セミナー等の行事参加に関する相談機能がありますか？
4	地方自治体に関わるイベント・セミナー等の行事参加に関する調整機能がありますか？
5	活動中に生じる事故の補償が整備されていますか？（例：保険の加入など）
◆はたらく	
1	地方自治体に関わるインターンシップ・アルバイトの行事参加に関する相談機能がありますか？
2	地方自治体に関わるインターンシップ・アルバイトの行事参加に関する調整機能がありますか？
3	地方自治体のインターンシップ・アルバイトに学生が参加する際の取り決めがありますか？
4	地方自治体のインターンシップによる単位の取得はありますか？
◆つくる	
1	政策提案を行う機会がありますか？
2	地域自治体との共同事業（コラボレーション）への参加機会がありますか？
3	地方自治体との共同事業／プロジェクト立ち上げに関する支援がありますか？
4	支援内容（取り組み数）
非営利組織	
◆知る	
1	共通の教養科目に非営利組織の取り組みを学ぶ授業がありますか？
2	授業内容（取り組み数）
3	非営利組織からの情報に関する情報提供をされていますか？
4	情報提供方法（取り組み数）
5	提供情報（取り組み数）
6	非営利組織からの提供情報を掲示するルールがありますか？
7	ルールの閲覧方法（取組数）
◆参加する	
1	非営利組織へ体験・実習を含めた授業、行事などがありますか？
2	非営利組織の情報取得が可能な中間支援組織の情報を備えていますか？
3	非営利組織と情報交換や事業についての協体制がありますか？
4	非営利組織に関わるイベント・セミナー等の行事参加に関する相談機能がありますか？
5	非営利組織に関わるイベント・セミナー等の行事参加に関する調整（コーディネート）機能がありますか？
6	活動中に生じる事故の補償が整備されていますか？（例：ボランティア保険の加入など）
◆はたらく	
1	非営利組織へのインターンシップ・アルバイトに関する相談機能がありますか？
2	非営利組織へのインターンシップに関する調整（コーディネート）機能がありますか？
3	非営利組織へのインターンシップに学生が参加する際の取り決めがありますか？

4	非営利組織へのインターンシップによる単位の取得はありますか？
◆つくる	
1	非営利組織との共同研究を行う機会がありますか？
2	非営利組織との共同事業（コラボレーション）への参加機会がありますか？
3	ンキュベーション（非営利組織の立ち上げ）支援がありますか？
4	支援内容（取り組み数）
地域ボランティア	
◆知る	
1	共通の教養科目に地域ボランティアの取り組みを学ぶ授業がありますか？
2	授業内容（取り組み数）
3	地域からのボランティア募集情報を掲示されていますか？
4	情報提供方法（取り組み数）
5	提供情報（取り組み数）
6	地域ボランティアについて提供情報を掲示するルールがありますか？
7	ルールの閲覧方法（取組数）
◆参加する	
1	地域行事へ体験・実習を含めた授業、行事などがありますか？
2	地域との連携・交流はありますか？
3	ボランティア活動の情報取得が可能な中間支援組織の情報を備えていますか？
4	地域住民との情報交換や事業に関する協力体制がありますか？
5	ボランティアに参加する際の相談機能はありますか？（例：個々の学生の希望する内容を紹介する等）
6	ボランティアに参加する際の調整機能はありますか？（例：参加者のとりまとめ等）
7	活動中に生じる事故の補償が整備されていますか？（例：ボランティア保険の加入など）
8	地域ボランティア活動へのインターンシップ等による単位の取得はありますか？
◆つくる	
1	ボランティア団体の立ち上げ・プロジェクト立ち上げに関する支援はありますか？
2	支援内容（取り組み数）

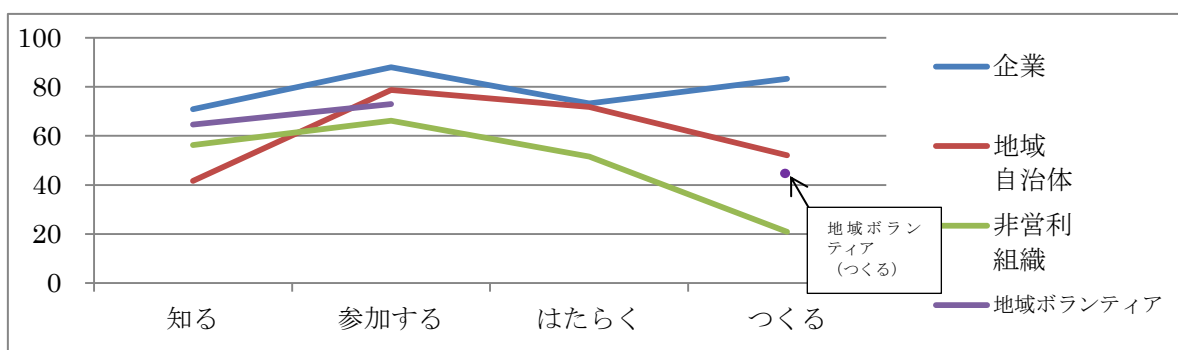
調査結果一覧表

No.	大学名	企業					地域自治体					非営利組織(NPO)					地域ボランティア				総計	知る 計	参加 計	はたらく 計	つくる 計
		知る	参加する	はたらく	つくる	計	知る	参加する	はたらく	つくる	計	知る	参加する	はたらく	つくる	計	知る	参加する	つくる	計					
1	岡山大学	5.5	2	4	1.5	13	6	5	4	5	20	7.5	5	4	2	18.5	5.5	3	3	11.5	63	24.5	15	12	11.5
2	岡山理科大学	6	2	3	2	13	3.5	2	0	4.5	10	5	2	2	11	6	7	1.5	14.5	48.5	20.5	13	5	10	
3	川崎医療福祉大学	4	2	3	0	9	2.5	5	2	3	12.5	4	6	1	0	11	7	7	2	16	48.5	17.5	20	6	5
4	ノートルダム清心女子大学	4	4	2	0	10	0	4	2	0	6	6	4	0	0	10	7	7	0	14	40	17	19	4	0
5	就実大学	7.5	4	4	0	15.5	3.5	2	4	0	9.5	3	4	0	1	8	4.5	7	0	11.5	44.5	18.5	17	8	1
6	吉備国際大学	6.5	4	4	0	14.5	3	5	3	0	11	0	0	0	0	6.5	8	0	14.5	40	16	17	7	0	
7	岡山県立大学	6	2	4	0	12	3.5	5	4	2	14.5	1.5	0	4	0	5.5	5	4	2	11	43	16	11	12	4
8	倉敷芸術科学大学	5	4	4	3.5	16.5	3.5	5	4	3.5	16	4	5	4	0	13	3	6	0	9	54.5	15.5	20	12	7
9	環太平洋大学	5	3	4	0	12	3	3	3	0	9	3	2	0	0	5	5.5	6	2	13.5	39.5	16.5	14	7	2
10	岡山商科大学	8	4	4	4	20	2.5	5	4	4	15.5	1.5	6	4	4	15.5	4	8	2	14	65	16	23	12	14
11	くらしき作陽大学	5.5	4	4	2	15.5	3.5	5	4	4.5	17	4.5	5	4	0	13.5	5	7	2	14	60	18.5	21	12	8.5
12	美作大学	7.5	4	4	2	17.5	0	2	4	3	9	6	6	4	0	16	4.5	7	0	11.5	54	18	19	12	5
13	山陽学園大学	7.5	4	4	0	15.5	3.5	4	4	2.5	14	4	1	2	0	7	5	6	3	14	50.5	20	15	10	5.5
14	中国学園大学	7.5	3	4	2	16.5	5	4	2	3.5	14.5	7.5	5	3	2	17.5	8	7	3	18	66.5	28	19	9	10.5
15	新見公立大学	6	3	1	0	10	4.5	4	2	0	10.5	3	1	1	0	5	5.5	6	0	11.5	37	19	14	4	0
16	岡山学院大学	5	3	3	0	11	2.5	4	0	1	7.5	2.5	2	0	0	4.5	2.5	6	0	8.5	31.5	12.5	15	3	1
	中央値	6	4	4	0	14	4	4	4	3	12	4	4	2	0	11	5	7	2	14	49	18	17	9	5
	最大値	8	4	4	4	20	6	5	4	5	20	8	6	4	4	19	8	8	3	18	67	28	23	12	14

I. 調査全体から見えてきたこと

一番参加しやすい環境は「企業」

4つの部門のなかで一番高いのが「企業」でした。就職活動などが厳しくなる世の中で、学生の関心度が高く、大学が積極的な取り組みを行っていることが窺えます。



	企業	地域自治体	非営利組織	地域ボランティア
知る	71	42	56	65
参加する	88	79	66	73
はたらく	73	72	52	-
つくる	83	52	21	50

点数は有無の回答を尋ねているものを100点満点換算したものになります。

(取り組み数によるポイントは積み上げ式になるため、数字から除いています)

1) 教育・福祉の学部(学科)を持つ大学は地域ボランティアに参加しやすい傾向がある

教育や福祉の分野で活躍する人材が、地域とのつながりを強く持つことを期待された結果だと考えることができます。また、そのような人材教育に対して専門的な立場にある教員や職員が配置されており、地域と繋がる基盤があることも大きな要因の一つと考えられます。

一方、大学自体が地域ボランティアの推進を考えた際、基盤となるネットワークや団体に対しての情報が少ない場合、労力がかかることも予想されます。

2) 公立大学と私立大学の差

公立大学では私立大学と比べ、「地域自治体」が高くなっています。自治体からの情報が届きやすい環境にあるからだと考えられます。

3) 財政規模と点数の相関について

各大学の予算・決算を確認させていただき、点数と比較をしましたが、大学の規模に関係なく、どの大きさであっても点数の高い大学はありました。規模の大きさではなく、取り組み方が要因だと考えられます。

4) 大学の特色にあわせ、点数の高い対象が異なる

商業や技術的な専門性が高い大学は「企業」の数字が高くなっています。併せて「つくる」といった、協働事業が高いのも特色です。

また、教育に関する学部学科を持つ大学は「非営利組織」の数字が高くなる傾向があり、学内にボランティアセンターが設置されている大学は「地域ボランティア」の数字が高くなる傾向が出ています。

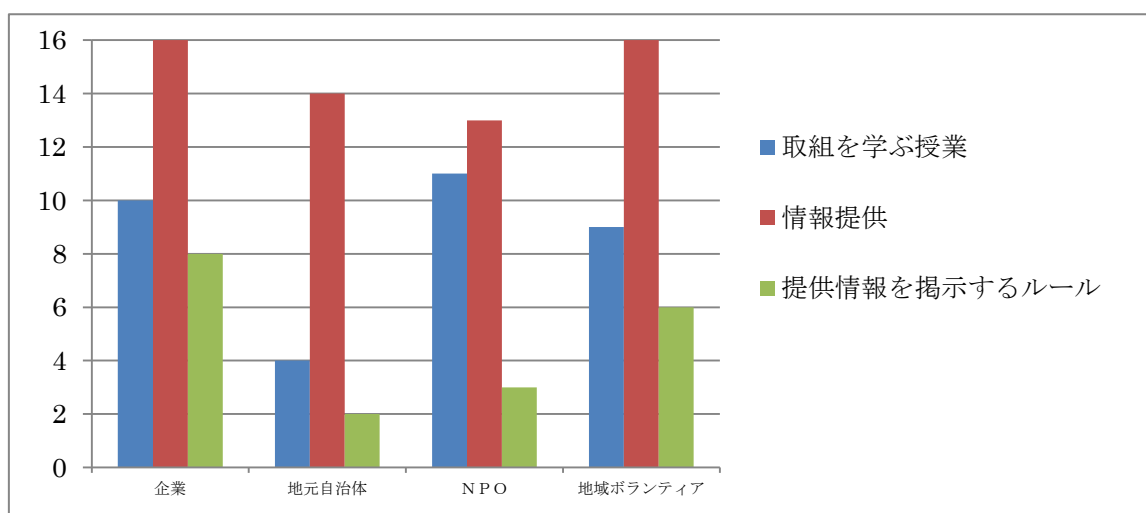
5) 学生数が中間にあたる大学は「知る」の点数が低めの傾向にある

学生数が中間にあたる大学は、全体的に「知る」が高くないという結果が得られました。人数の多い学校は情報を届けるために仕組化がされており、逆に少人数の学校であれば、個々への対応が可能であるからと考えられます。

6) 多くの大学では情報提供のルール化がされていない。

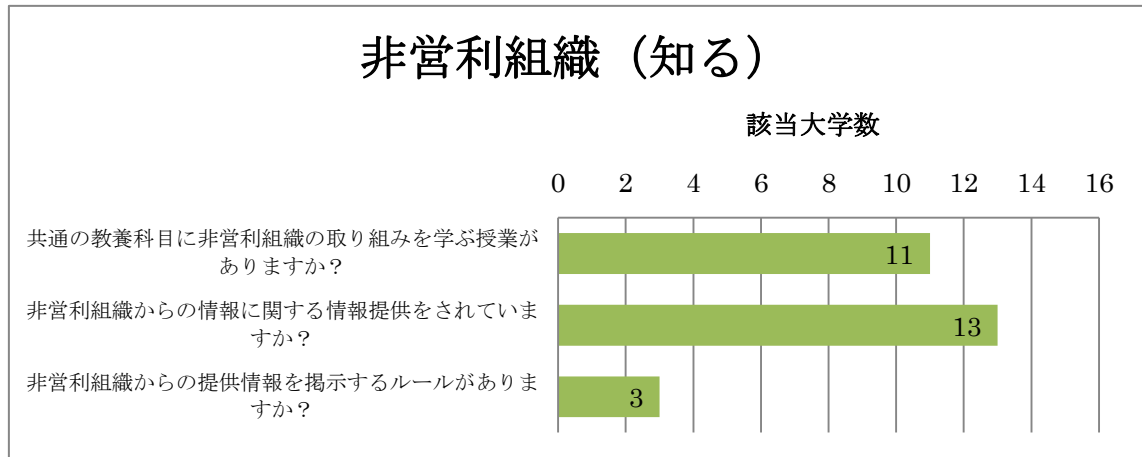
多くの大学が「情報提供」はしているものの、「情報提供に対してのルール」をもっておらず、部署の判断に任せられると回答した大学が多くみられました。また、提供ルールの対象では「企業」が一番高くなっており、就職活動の際、多く寄せられる情報になるからだと考えられます。

情報をどのように周知するかというルールをもっている大学は、「知る」が高くなっており、参加を後押ししています。



Ⅱ. 非営利組織における各指標の特徴

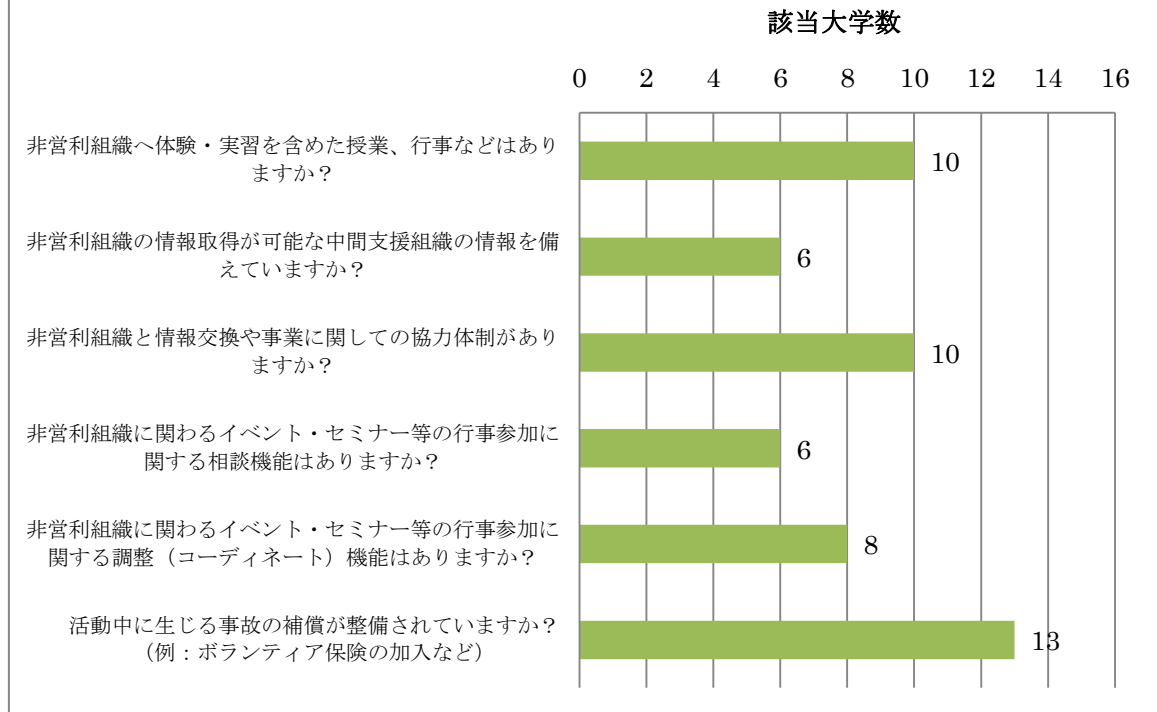
この章のグラフは、回答をいただいた16大学全体の該当数を積み上げ式で表しています。数字が大きい項目は、多くの大学で取り組まれているものになります。



非営利組織の「知る」が多い大学の特徴

もっとも該当項目が多かったのは、岡山大学、中国学園大学でした。岡山大学では、多くの学生などに情報を届けるため、掲示板やウェブコンテンツ、メールマガジンの配信など提供方法が多く用意されています。また中国学園大学では、情報を提供するためのルールが整備されており、重層的に学生たちに情報が届くようになっています。

非営利組織（参加する）

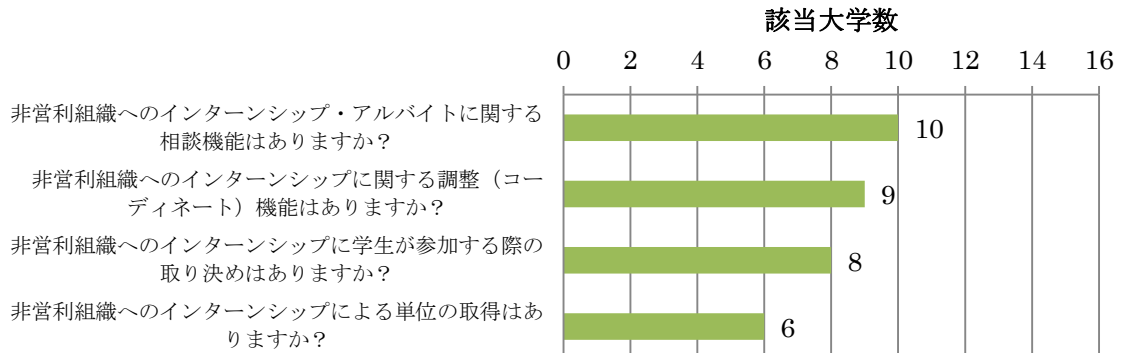


非営利組織の「参加する」が多い大学の特徴

もっとも該当項目が多かったのは、川崎医療福祉大学、美作大学、岡山商科大学でした。

川崎医療福祉大学、美作大学は、ともにボランティアセンターが設置されているという共通点があり、参加に関する相談機能が整備されています。また、中間支援組織など外部との協力体制もあるため、学生を外に出しやすい環境も整備されています。

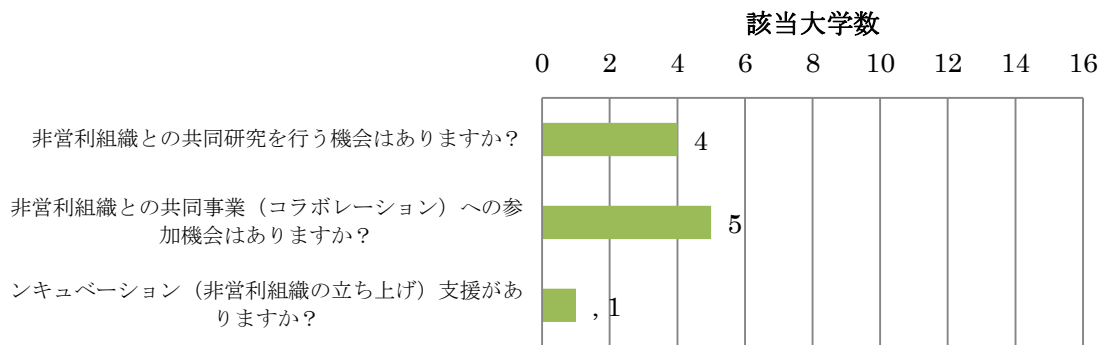
非営利組織（はたらく）



非営利組織の「はたらく」が多い大学の特徴

企業・行政と比べ、NPOへの「はたらく」は低めの数字となっています。そのなかでも高いのは、学生数が中間数にあたる学校が多い傾向が出ています。

非営利組織（つくる）



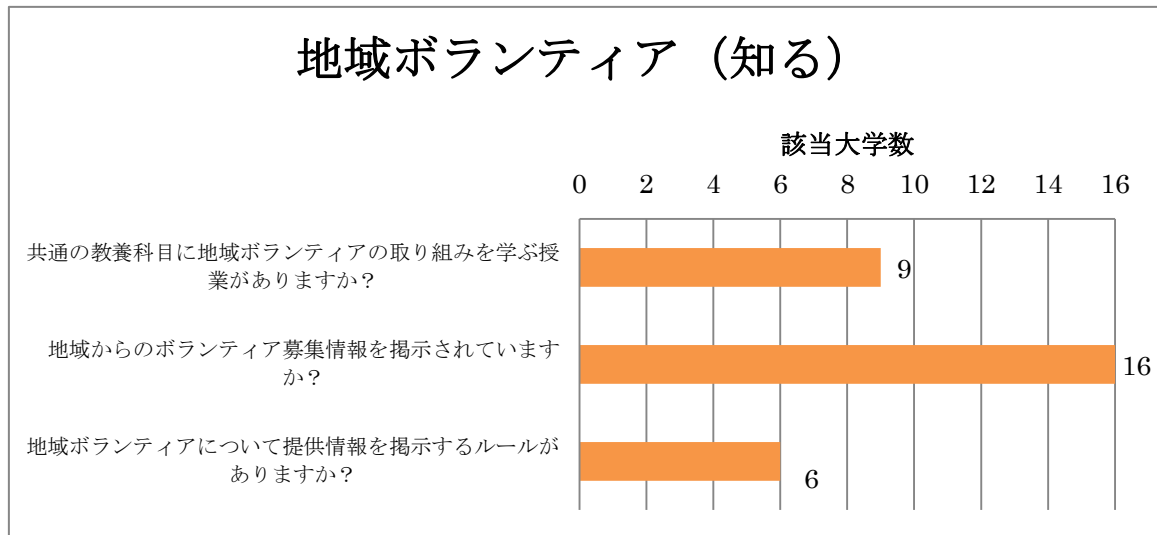
非営利組織の「つくる」が多い大学の特徴

もっとも該当項目が多かったのは、岡山商科大学でした。

インキュベーションの団体運営の相談機能、資源提供といった内容が充実しているのが特徴です。

Ⅲ. 地域活動における各指標の特徴

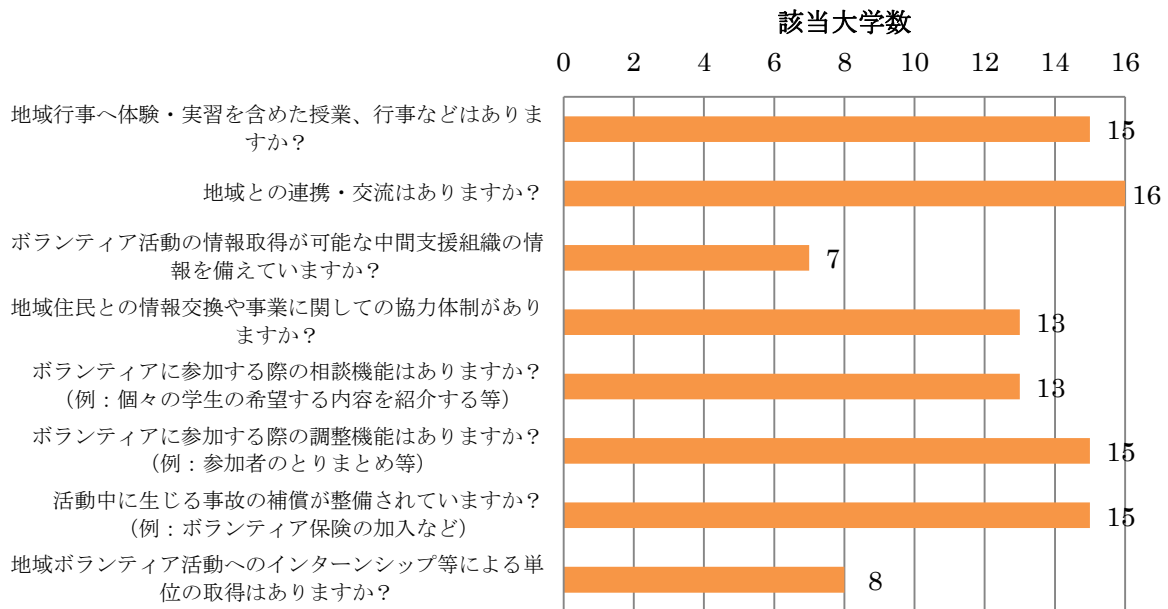
この章のグラフは、回答をいただいた16大学全体の該当数を積み上げ式で表しています。数字が大きい項目は、多くの大学で取り組まれているものになります。



地域ボランティアの「知る」が多い大学の特徴

もっとも該当項目が多かったのは、中国学園大学でした。非営利組織と同様に、情報を提供するためのルールが整備されています。

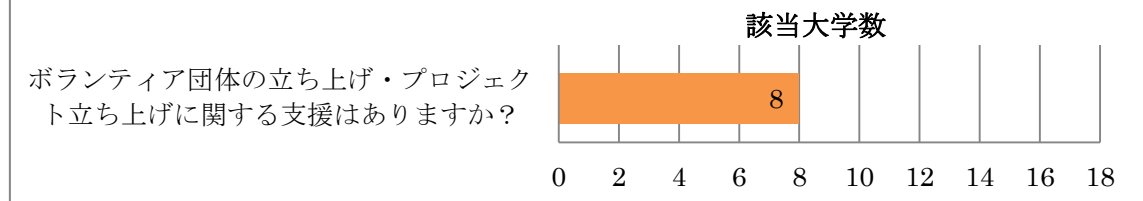
地域ボランティア（参加する）



地域ボランティアの「参加する」が多い大学の特徴

もっとも該当項目が多かったのは、吉備国際大学、岡山商科大学でした。ボランティアに対しての単位取得など、課程のなかにボランティアが組み込まれているのも特徴です。吉備国際大学はボランティアセンターを設置し、相談機能や調整機能を持つほか、中間支援組織との繋がりといったように外への働きかけを整備していることから、ボランティアに参加しやすい環境ができています。

地域ボランティア（つくる）



地域ボランティアの「つくる」が多い大学の特徴

該当項目が多かった大学は、ボランティア活動の企画運営を自主的に行う学生に対し、相談機能、資金サポート、資源提供のみならず、スキルの提供といったように、ソフト・ハードともに充実した支援が行われています。